

支え合いのまち千葉 推進計画（第5期千葉市地域福祉計画）の 策定スケジュールの見直しについて

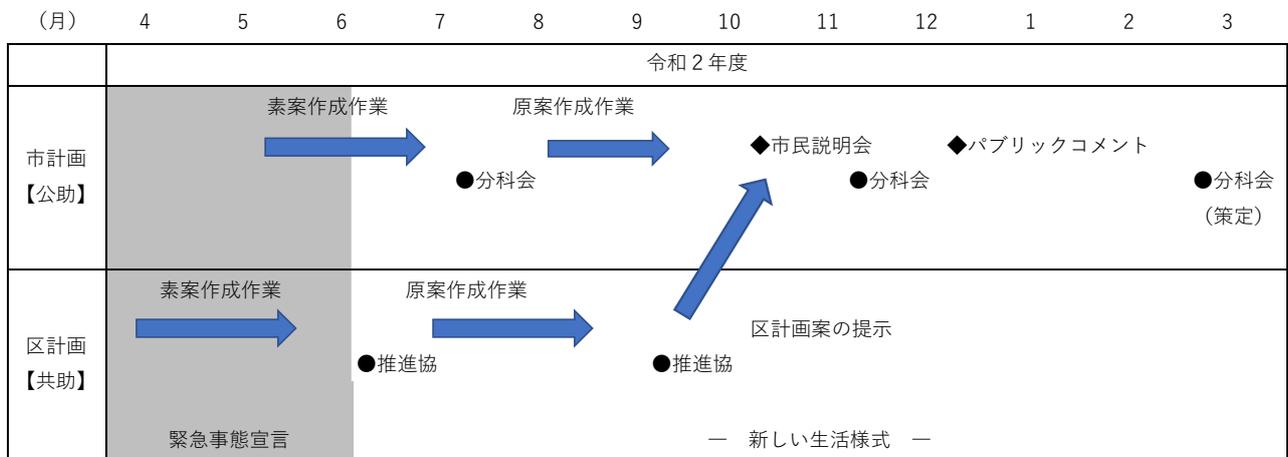
1 これまでの経過及び当初スケジュール

(1) 令和元年度

本分科会での検討を経て、計画期間を令和3年度～8年度までの6年間（5年度に中間見直し）とし、令和2年2月「計画策定方針・骨子」を確定しました。

(2) 令和2年度

本分科会において検討を進め、令和3年3月の策定を予定していました。



2 新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）による影響

(1) スケジュールの遅延等

- ・各区実務担当者会議（4月）、WEBアンケート調査（5月）の延期
- ・区支え合いのまち推進協議会が実施困難であり、「区計画素案」未策定
- ・活動主体の社協地区部会等が6月末まで活動自粛

(2) コロナを想定した「新しい生活様式」の計画への反映

- ・本年2月に確定した「計画策定方針・骨子」はコロナ前のいわゆる「密」が前提（多数が集まる密集場所で間近での会話など密接場面である居場所の拡充や、そうした居場所を高齢者・障害者・子ども等対象者別の活動から全世代型へ展開すること、等）
- ・「計画策定方針・骨子」について「新しい生活様式」を前提とした修正が不可欠

3 第5期計画策定に向けた新たな工程の追加

(1) 区計画

- ・コロナ前の固定観念からの脱却
- ・「新しい生活様式」の中で『ともに支えあう』活動について協議・検討（地域住民・関係団体とのディスカッションやヒアリングを、リモートや少人数対面で実施）等

「新しい生活様式」の中で『ともに支えあう』活動についての協議・検討のイメージ

これまでの地域活動は・・・

- 地域の集会所に集まって、にぎわいがあり、おしゃべりできて、お茶ができて、みんなで歌を歌って、体操をする地域住民のサロン活動
 - ひとり暮らし高齢者のご自宅を訪問しての見守り活動
 - みんなで楽しいお食事会
- など、いわゆる「3密」（密集・密接・密閉）、人との対面を前提とした方法で実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、さまざまな制約が発生し、一部の活動が実施困難に

課題・問題の発生

情報過多で不安が増大
寂しい、人としゃべらなくなった
外出が減り、閉じこもりがち
体力の低下
イライラすることが増えた
困りごとが相談できない

生活困窮
児童虐待・DVの相談増
家族介護者の負担増
フレイル、認知症の進行
ボランティアのモチベーションの低下
社会孤立が進行、生活実態・ニーズの把握困難

つながり、支え合い続けるために

ちばし チェンジ 宣言！（地域福祉版） 地域福祉も変わる！

～3密（密集・密接・密閉）を
避けることが命を守ります～

- ◆ 電話（ビデオ電話）、手紙、SNSで見守り活動！
- ◆ 屋外、少人数、短時間での集いの場、訪問活動！
- ◆ オンラインサロン、オンライン講座の開催！

<具体的な事業例> 「大学、事業者等と連携した地域活動のオンライン化への支援」

- ・地域活動に有用なスマホの使い方の研究
- ・健康づくりや生活支援のための動画コンテンツの作成
- ・スマホ（LINE／ZOOM）の使い方講座・研修の開催
- ・動画視聴の体験会の実施
- ・主催者・参加者へのサポート など

<各地で行われている工夫事例>

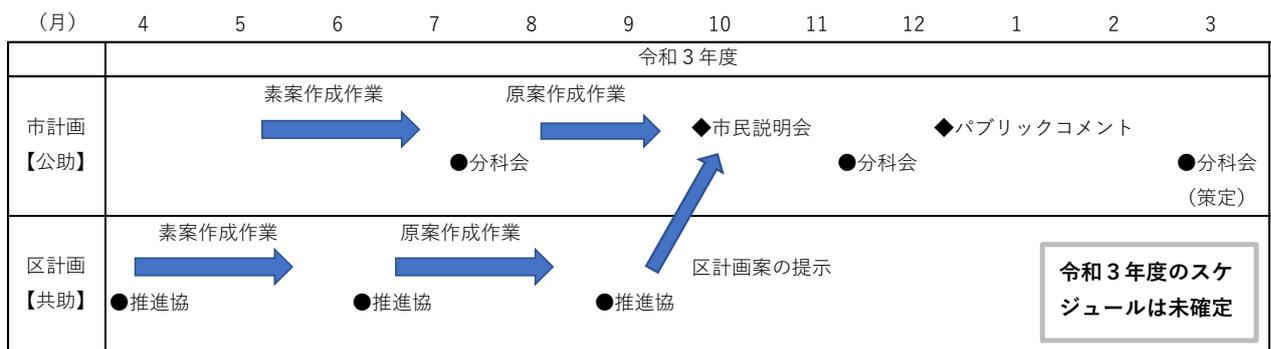
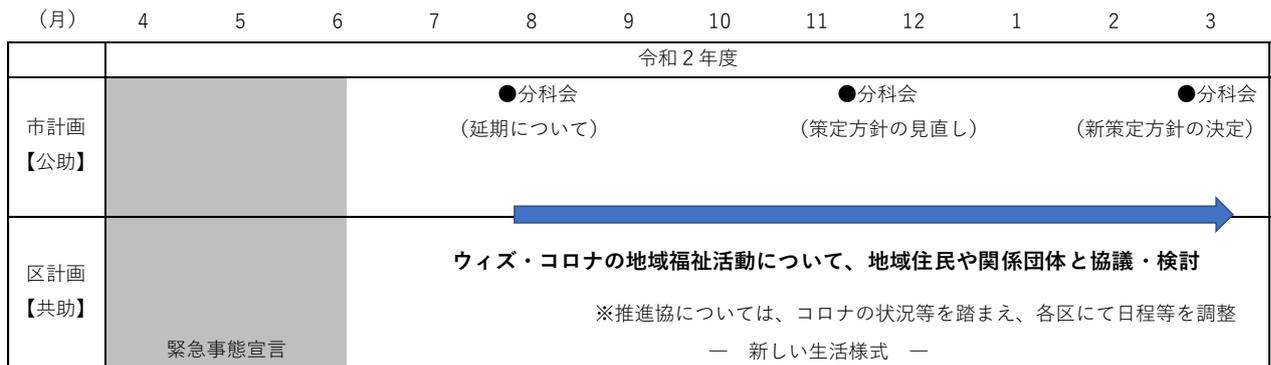
- ・集いの場を、電話、手紙、通信・マスクの配布、自宅訪問、配食、屋外活動（ウォーキング・ラジオ体操等）やLINE（子育てサロン）に切り替え
- ・子ども食堂や会食会を、業者発注、宅配や取りに来てもらう方式に切り替え
- ・買物支援サービスを、移動販売の拡充や買物代行に切り替え

(2) 市計画

- ・「新しい生活様式」を考慮した「計画策定方針・骨子」の修正
- ・上位計画である次期基本計画の素案（令和3年第1四半期確定予定）との整合 等

4 第5期計画策定スケジュールの見直しについて（案）

工程の追加により、第5期計画の策定を1年（コロナの状況により変動）延期し、計画期間を令和4年度～8年度までの5年間とします。



5 他計画等との整合について

- ・上位計画である基本計画については、次期基本計画の素案確定や区民・区長との意見交換が令和3年3月～4月頃に予定されており、それらを踏まえた策定作業を行います。
- ・調和を図ることとされている高齢者保健福祉推進計画については、令和2年2月に確定している「地域福祉計画策定方針・骨子」を基に検討を行うことで、整合を図ります。
- ・千葉県社会福祉協議会の地域福祉活動計画については、本計画と合わせ、1年程度の延期を予定しています。
- ・地域福祉計画の策定にあたっては、その他の先行する個別計画と十分に整合を図りつつ、策定作業を進めます。